

台風7号の被害

警戒レベル5
「緊急安全確保」
発令



町道落岩中央線崩落（落岩）



流木がぶつかる上峰寺橋（上峰寺）



町道崩落により寸断した小田橋（市場）

私都川が氾濫 土砂流出2集落孤立発生

八頭町内の主な被害状況

9月20日時点

死傷者	0人
床下浸水	4件
床上浸水	0件
公共土木災害	9カ所
農地農業用施設災害	90カ所
林道施設災害	13カ所



県道崩落（福地）



農地の法面崩落（姫路）

記録的な大雨

台風7号は8月15日に和歌山の潮岬付近に上陸し、兵庫県をゆっくりと北上。15日の夕方、鳥取県に最接近しました。八頭町では、15日の午前9時から中央公民館・船岡庁舎・中央人権センターに自主避難所、また、郡家保健センターに福祉避難所を開設しました。

その後、局地的に猛烈な雨となり、私都川の水位が上昇して、午後3時に上私都・中私都・郡家東地区に警戒レベル4の「避難指示」を発令、上私都地区福祉施設・中私都改善センター・郡家東地区公民館に指定避難所を開設しました。雨は弱まる気配がないまま、「落岩・福地集落で私都川が溢水している」と報告があり、午後3時30分、町では初めてとなる警戒レベル5の「緊急安全確保」を上私都・中私都地区を対象に発令しました。

かつてない甚大な被害

今回の台風による大雨で、県の麻生観測局で最大24時間雨量332mmを記録。土砂流出などで姫路・明辺集落が孤立し、停電が発生しました。また、落岩・福地集落などの主要な生活道が河川の護岸崩落により全面通行止め、水道管等の破損による断水など、公共土木施設および農地、農林業施設等に甚大な被害をもたらしました。

懸命な復旧作業

台風通過後は、連日懸命な復旧作業が進められました。福地集落内で全面通行止めとなった県道麻生国府線は、8月26日から片側交互通行が可能となり、町営バス私都線および郡家東小学校・八頭中学校のスクールバスの通常運行を再開しました。また、住民の皆さんをはじめ、地元自警団、災害ボランティアなど、助け合いながら、住宅敷地内の土砂、側溝や農業用水路にたまった土砂やゴミなどの撤去作業が行われました。

日頃の備えと助け合い

町では、避難所を7カ所開設しましたが、自主的に一時避難所（集落公民館など）を設けて避難をした集落もありました。危険の少ない一時避難所であれば大変有効な対策といえます。また、人的被害が生じなかったのは、日頃の住民同士のつながりや自警団の活躍など地域の関係づくりが、迅速な助け合いの避難行動につながったものと考えます。

災害復旧については、現在、国の災害復旧事業の申請準備を進めており、早期復旧に向けて尽力しています。

もしもの時に備え、今後も防災訓練等に積極的に参加し、自分の命は自分で守る「自助」と自分たちの地域は自分たちで守る「共助」の取り組みをお願いします。

8/27
(日)

八頭町防災訓練を実施

8月27日（日）、全集落を対象に八頭町防災訓練を実施しました。この訓練は、地域住民による自助・共助の強化と防災意識の高揚を図るため、9月1日を「八頭町防災の日」と定めて、直前の日曜日に実施しているものです。新型コロナの影響で3年ぶりの訓練実施となりました。



指定避難所へ避難誘導
傷病者が出た想定で搬送訓練



ダンボールベッドの組み立てを体験



外国人住民の方を対象にした防災学習



指定避難所で受付・検温

全体訓練

本年も各集落が選択で「土砂災害」「洪水浸水」「地震」を想定した訓練を実施しました。

訓練では、7時10分から大雨を想定した訓練、7時44分から地震を想定した訓練を開始し、避難行動要支援者・要配慮者の安否確認、避難誘導、相談窓口の設置、被害状況の調査等の訓練に各集落が取り組みました。

今回は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に位置づけられたことにより、自主的な感染対策のもとで訓練が行われました。

モデル地区

石田百井集落で実施し、赤十字奉仕団による炊出し訓練、自警団による搬送訓練、八頭県土整備事務所河川砂防課による防災学習会および避難所訓練が行われました。

防災学習会では、台風7号の被害状況、気象と災害、浸水想定区域および河川工事の事例などの説明を受け、自分たちの集落のどこに災害危険箇所があり、どのような避難が必要なのかについて学びました。

避難所訓練では、実際にラップポ

ントイレとダンボールベッドの組み立てを体験するなど、避難のポイントや災害時の避難所運営について理解を深めました。

また、地域の中で誰もが災害時に適切な行動が取れるよう、外国人住民の方にも参加をいただき、県国際交流財団による外国人向け防災ハンドブックや防災カルタなどを用いた防災学習が行われました。

防災フェスタ

防災訓練の後には、国中保育所駐車場を会場に、はしご車乗車体験、火災時の煙体験、災害VR体験などのコーナーが設けられ、親子連れなど多くの来場者で賑わいました。

防災意識の高揚

大規模災害時には、建物倒壊や火災、道路の損壊等が発生し、行政機関の活動が著しく制限される可能性があります。その時に必要となるのが、地域での助け合いです。

「八頭町防災の日」を契機に住民一人一人が災害に備え、日頃から家族・集落と避難について話し合い、災害時の行動を迅速に行えるようにしましょう。